

AEDについて

AEDは誰でも使える

AEDは音声で指示

AEDは音声で指示を出してくれるので医学の知識がなくても使えます。電気ショックの必要があるかどうか、AEDが判断しますので、指示に従えば問題ありません。

AED設置場所はマークで表示

AEDは公共施設などに設置されており、設置場所には右のようなマーク表示があります。



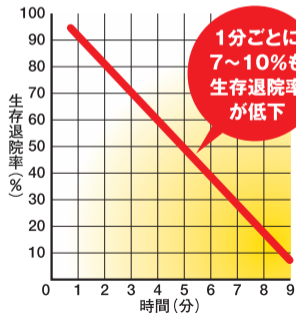
AED

AEDは、医師会や日本赤十字社、消防署などで講習が受けられます。

いのちを救うチャンスは、 わずか10分間。

身近なあなたにかかっています。

心停止で意識を失ったまま10分間放置すると、生存退院率（救命率）は10%を切ってしまう。電気ショックは1分1秒でも早く行なわなければなりません。



1分ごとに
7~10%も
生存退院率
が低下

出典：Larsen MP, et al:Ann Emerg Med 1993;22:1652-1658.

大切ないのちを救う

心肺蘇生法 ABC+D

日本医師会
<http://www.med.or.jp/>



日本医師会

2009

心肺蘇生法のABC+Dを知ることが救命救急の命です。

- A**... **Airway**
気道確保
- B**... **Breathing**
人工呼吸(省略可能)
- C**... **Circulation**
胸骨圧迫(心臓マッサージ)
- +**
- D**... **Defibrillation**
除細動

除細動とは、心臓に電気ショックを与えることで、**AED**(自動体外式除細動器)という機器を使えば誰にでもできる手当てです。

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます!

あっ!

倒れている人がいたら
声をかけて肩を軽くたたく。
意識がないときは
119番とAED!



A 気道を確保する。



B 息を2回吹き込む。
(省略可能)
窒息や溺水の場合は、
人工呼吸を行ってください。



救急車が到着するまで
B C D の処置を続けてください。

C 胸部を圧迫する。
両手を重ね、胸の
中央を強く30回押す。



D AEDが到着したら、
AEDで心臓ショック。
患者から離れてください。

